

東久留米市保育所等利用待機児童2年連続減少、 過去10年で最少に！空き定員は増加へ

市では、子どもが健やかに生まれ育つことへの支援を重点施策の一つに掲げる中、保育所等利用待機児童解消策を進めてきました。平成27年度以降、私立保育園の開設などにより350名分を超える定員増を図り、平成30年4月1日時点の待機児童は、国の調査要領に沿って集計すると2年連続で減少し、過去10年で最少の38名（速報値）になる見込みです。

一方、保育所等の定員の空き状況も変化が生じており、同時点での空き定員は待機児童がいる0歳児から2歳児で56名分と増加しています。

各年齢で空き定員と待機児童を比較すると、1歳児のみ10名分の定員の不足が生じていますが、平成30年10月には東久留米駅周辺（東口）の私立保育園開設により、現時点でのニーズを上回る1歳児12名の定員増を予定しています。また、平成31年4月には閉園後の幼稚園跡を活用した私立保育園の開設も予定しており、子育て環境の整備に取り組んでいます。

【参考情報】

1. これまでの保育所等の施設整備

平成27年度…私立保育園の新規開設など

平成28年度…小規模保育施設の新規開設など

平成29年度…市立保育園の民営化による私立保育園の開設や、既存私立保育園の増設、小規模保育施設の新規開設など

平成30年度…都有地を活用した私立保育園の新規開設など

2. 待機児童の推移（各年4月1日時点）

平成21年度＝96名、平成22年度＝113名、平成23年度＝107名、

平成24年度＝104名、平成25年度＝120名、平成26年度＝84名、

平成27年度＝87名、平成28年度＝92名、平成29年度＝67名

平成30年度＝38名（速報値）

平成30年5月1日

3. 保育所等空き状況（平成30年4月1日時点）

0歳児＝29名分、1歳児＝12名分、2歳児＝15名分

3歳児＝7名分、4歳児＝17名分、5歳児＝17名分

4. 今後の施設整備予定

①東久留米駅周辺（東口）に私立保育園を新規開設（平成30年10月予定）

②閉園後の私立幼稚園跡を活用した私立保育園の新規開設（平成31年4月予定）

■問い合わせ先

子育て支援課長 功刀（くぬぎ） 電話042・470・7744